
リモートウェル、産経新聞社と 介護のしごと就労マッチングの実証実験を 政令指定都市と令和4年度内より順次開始

オンライン通話ツール「Remotewell(リモートウェル)」の開発・提供、コミュニケーションデータの解析・活用を行うリモートウェル株式会社(東京都千代田区、代表取締役：澤 孟澄、以下リモートウェル)と、株式会社産業経済新聞社(東京都千代田区／代表取締役社長：近藤 哲司、以下産経新聞社)は、介護のしごと就労マッチングの実証実験を政令指定都市と協力して令和4年度9月より順次開始いたします。



<実証実験の背景>

産経新聞社は令和2年度厚生労働省介護のしごと魅力発信等事業において、「介護に関する入門的研修動画」を制作、顔認証(なりすまし防止機能)を併せて使用できるシステムを開発しました。既に首都圏の政令指定都市で、令和3年度、受講生の募集からこのシステムを利用しての視聴、修了証明書発行までを行い、約半年間に216名から応募があり、146名に修了証を発行しました。一方、修了証を取得した受講生が自身の条件にあった介護事業者に就業することは難しく、今後の課題となっていました。

こうした課題が顕在化する中、産経新聞社はリモートウェルの技術に着目し、修了証を取得した受講生と求人募集している介護事業者を適切にマッチングすることで、受講生に対して修了証取得後の更なる支援のために、実証実験として介護事業者と受講生のマッチング事業を政令指定都市と令和4年度9月より開始いたします。

<リモートウェルの役割>

リモートウェルは、アプリ不要、スマホからわずか数タップですぐにオンラインビデオ通話を開始することができるサービス「Remotewell」を活用することで、産経新聞社の「介護に関する入門的研修動画」の受講生向けに、受講後の就労をサポートするオンライン相談窓口を設置します。

今後は産経新聞社とリモートウェルは、政令指定都市と令和4年度9月より介護のしごと就労マッチングの実証実験を開始いたします。

【当社の目指すもの】

私たち、リモートウェルが目指すのは、すべての人が「健康で安心して生活できる環境」を実現することです。「健康」と「安心」。人間が生活するうえで「根幹」となる、守られるべき基本的なヒューマンバリュー(人間価値)です。リモートウェルは、心身ともに健康で働きやすい環境と、「健康で安心して暮らせる社会」を先進のAIコミュニケーションテクノロジーで、実現させます。

【会社概要】

会社名：リモートウェル株式会社

代表：代表取締役 澤 孟澄

所在地：東京都千代田区丸の内1-1-3 日本生命丸の内ガーデンタワー3F

設立：2021年6月2日

資本金等：2億4,300万円(資本準備金含む、2022年4月時点)

事業内容：リモート接客サービス「Remotewell」の開発・提供、コミュニケーションデータ解析によるサービス企画開発

URL：<https://remotewell.jp/>

【本リリースに関するお問い合わせ先】

リモートウェル広報担当

mail：support@remotewell.tech